

しましゅく 議会だより

第258号

令和8年5月1日(2026年)

令和8年度 七ヶ宿小学校入学式

- 令和8年度一般会計・特別会計・事業会計の予算概要 P 2 ~
- 議会定例会開催・予算特別委員会・予算委員長報告 P 4 ~
- 議会・議長の動向 P 9
- 行政に対する提言書(抜粋) P11
- 一般質問 2名の議員が町政を問う P12~
- クローズアップ 江戸時代の七ヶ宿は「ゴールドラッシュ?」 P14

令和8年第1回議会定例会

経費の構成（歳出）

| | |
|--|--|
| 総務費 6億1177万円 ○地域おこし協力隊補助金 ○庁舎照明器具LED化工事 など | 議会費 6073万円 ○議員報酬 ○議会だより作成費 など |
| 衛生費 2億6010万円 ○薬局安定支援補助金 ○仙南地域広域行政事務組合負担金 など | 民生費 3億2893万円 ○障害者自立支援給付費 ○児童手当 など |
| 商工費 1億4251万円 ○観光協会補助金 ○スキー場第1ペアリフト主電動機分解整備工事 など | 農林水産業費 1億4313万円 ○中山間地域等直接支払交付金 ○南奥羽鳥獣害防止対策協議会負担金 など |
| 消防費 1億1695万円 ○仙南地域広域行政事務組合負担金 ○地域防災計画改定業務 など | 土木費 2億5134万円 ○地域担い手づくり支援住宅新築工事 ○橋梁点検業務 など |
| 災害復旧費 177万円 ○災害復旧用材料代 など | 教育費 3億9072万円 ○学校施設新築実施設計業務 ○校務用パソコン購入事業 など |
| 予備費 1262万円 | 公債費 2億7243万円 ○町債元金償還金 など |

事業会計予算（簡易水道事業会計・下水道事業会計）

| | |
|----------|--------|
| 簡易水道事業収益 | 9932万円 |
| 資本的収入 | 3114万円 |
| 簡易水道事業費用 | 9818万円 |
| 資本的支出 | 3390万円 |



▲関浄水場

| | |
|---------|----------|
| 下水道事業収益 | 1億6215万円 |
| 資本的収入 | 9614万円 |
| 下水道事業費用 | 1億6024万円 |
| 資本的支出 | 1億791万円 |



▲七ヶ宿町下水処理場

※上下水道事業は、施設の資産や借入金、経営状況などをより明確にするため、令和6年度から公営企業会計へ移行されました。

一般会計予算 25億9300万円を可決

令和8年第1回定例会概要

第1回議会定例会は、去る3月3日(火)から3月13日(金)までの11日間開催され、町長から提出された令和8年度各種会計予算について予算特別委員会を設置し審査を行い、原案どおり可決されました。
 また、令和7年度一般会計・特別会計・事業会計の補正予算や条例の一部改正への質疑が行われ、原案どおり可決されました。

財源の構成（歳入）

| 主な自主財源（町で確保） | | 主な依存財源（国・県など） | |
|--------------|------------------------|---------------|-------------------------|
| ・町税 | 4億4535万円 (収入総額の17%) | ・地方交付税 | 11億1750万円 (収入総額の43%) |
| ・繰入金 | 4億981万円 | ・国庫支出金 | 1億609万円 |
| ・寄付金 | 500万円 | ・県支出金 | 8529万円 |
| | | ・地方譲与税 | 5526万円 |

※七ヶ宿町の歳入は、地方交付税が最も多く、全体の約40%を占め、町税などの自主財源は約20%となっており、国からの交付金や各種補助金が町の財政を支えています。

| 町民ひとりあたりの行政サービスは 総額 約219万円 | | | |
|----------------------------|-------|-------------|--------|
| ◇教育費 | 約33万円 | ◇道路維持・除雪 | 約21万円 |
| ◇福祉費 | 約28万円 | ◇その他の経費 | 約125万円 |
| ◇農林業費 | 約12万円 | | |
| | | ※町民1148人で計算 | |

※その他の経費には行政運営や衛生費・公債費・消防費・観光費などが含まれています。

特別会計予算 6億7520万円



| | |
|---------------|----------|
| ◇介護保険 | 2億6500万円 |
| ◇後期高齢者医療 | 2770万円 |
| ◇国民健康保険（事業勘定） | 1億8700万円 |
| ◇国民健康保険（直診勘定） | 1億1300万円 |
| ◇介護サービス | 2250万円 |
| ◇町営バス | 4600万円 |
| ◇七ヶ宿ダム自然休養公園 | 1400万円 |

※特別会計は国民健康保険や介護保険など特定の事業を行うための会計で、保険料や利用料、国や県の補助金などを主な財源としています。不足する分については一般会計や基金による繰入で運営します。

令和8年第1回七ヶ宿町議会定例会

会期（3月3日～13日）

◆人事

◆議案第19・20号
固定資産評価審査委員会委員の選任

◆条例の制定・一部改正

◆議案第21号
七ヶ宿町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

◆議案第22号
七ヶ宿町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

◆議案第23号
七ヶ宿町子育て応援支援金支給条例の一部改正

◆議案第24号
七ヶ宿町移住定住支援センター条例の一部改正

◆指定管理者の指定

◆議案第25号
七ヶ宿町移住定住支援センター及び滑津大滝公園農林産物直売施設の指定管理者の指定

◆議案第26号
七ヶ宿町農林産物保管庫の指定管理者の指定

◆議案第27号
横川活性化施設の指定管理者の指定

◆議案第28号
七ヶ宿町ライスセンターの指定管理者の指定

◆議案第29号
七ヶ宿町高齢者生活福祉センターの指定管理者の指定

◆令和7年度補正予算

◆議案第30号
一般会計補正予算（第9号）

◆議案第31号
介護保険特別会計補正予算（第3号）

◆議案第32号
後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）

◆議案第33号
国民健康保険特別会計補正予算（第4号）

◆議案第34号
介護サービス特別会計補正予算（第2号）

◆議案第35号
簡易水道事業会計補正予算（第5号）

◆議案第36号
下水道事業会計補正予算（第4号）

（次のページに続く）

◆固定資産評価審査委員会委員の選任



たか かし くと
高橋 一登 氏



たか はし しゅう いち
高橋 秀一 氏



▲議会事務局にて

◆指定管理者の指定（5施設）

| 施設の名 | 指定管理者 | 指定管理期間 |
|--------------------------------|-----------------------|-----------------|
| 七ヶ宿町移住定住支援センター及び滑津大滝公園農林産物直売施設 | 七ヶ宿まちづくり株式会社 | R8.4.1～R13.3.31 |
| 七ヶ宿町農林産物保管庫 | 七ヶ宿町雪室管理運営組合 | R8.4.1～R13.3.31 |
| 横川活性化施設 | 七ヶ宿まちづくり株式会社 | R8.4.1～R13.3.31 |
| 七ヶ宿町ライスセンター | 農事組合法人 ライスファーム七ヶ宿 | R8.4.1～R13.3.31 |
| 七ヶ宿町高齢者生活福祉センター | 社会福祉法人 七ヶ宿町社会福祉協議会 | R8.4.1～R13.3.31 |

令和7年度一般会計補正予算（第9号）

◆主な歳入
◆地方交付税
◆繰入金
1億2,598万円
1億2,208万円

◆主な歳出

◆総務費 2億6,179万円
◆民生費 3,966万円
◆衛生費 2,973万円
◆農林水産業費 4,844万円
◆商工費 1,044万円
◆土木費 6,254万円
◆消防費 1,465万円
◆教育費 1,657万円

令和7年度特別会計補正予算

◆介護保険 1,130万円
◆後期高齢者医療 830万円
◆国民健康保険（事業勘定） 1,490万円
◆国民健康保険（直診勘定） 1,020万円
◆介護サービス 600万円

令和7年度事業会計補正予算

◆簡易水道事業会計
◆簡易水道事業収益 2,000万円
◆簡易水道事業費用 2,000万円
◆下水道事業会計
◆下水道事業収益 1,473千円
◆資本的収入 3,115千円
◆下水道事業費用 3,033千円
◆資本的支出 987千円

◆総括質疑

問 ダム交付金が減額となった要因は。

答 国土交通省の算定に誤りがあり減額となった。

問 みやぎ県南中核病院への救急医療費負担金は毎年発生するのか。

答 令和8年度は救急医療赤字があり、そのうち約157万円を負担する。今後も継続負担の可能性がある。

問 町道整備は簡易補修ではなく計画的な全面改修も必要ではないか。

答 財源確保や補助採択が困難のため、当面は安全確保を優先しながら部分補修で対応せざるを得ない。



▲改修が急がれる町道

問 地域活性やインフラ整備など必要な投資的事業は9月までの町長の任期に関わらず当年度予算に示すべきでないか。

答 投資的事業は9月までの発注に限定し、新規事業は新体制で予算執行していく。

問 ふるさと納税について財源確保の観点から返礼品をどの様に充実させていくのか。

答 令和8年度は米価の高騰もあり、米を返礼品としたふるさと納税は予想以上の反響があった。今後は七ヶ宿ブランドのPRに取り組みほか、観光施設の利用券なども加えさらに工夫させていく。

予算委員会質疑

「事業内容や金額を詳しく審査」

歳入

問 地方交付税が増額となった理由は。
答 主な要因は、令和8年度に地域防災計画を策定するため増額となった。

歳出

総務費

問 行政事務委託の賃金は適正なのか。
答 作業単価は県の最低賃金以上で、機械の持ち込み費も加算している。

民生費

問 エアコン補助の対象世帯と補助率は。
答 70歳以上の高齢者のみの世帯と70歳以上の高齢者と障がい者のみの世帯、18歳までの子どもがいる世帯が対象で63世帯、補助率は2分の1で上限は10万円。

問 不法投棄防止の防犯カメラや看板の設置予定はあるか。
答 昨年、不法投棄防止看板を10基製作し、6基を設置した。残り4基の設置場所は不法投棄防止協議会の中で決定したい。



▲不法投棄現場

予算総括質疑、町長答弁

問 議会は町民の代表としての役割を果たしているが、地方議会の二元代表制としての立場や役割について町長の認識は。
答 首長は町民の命と暮らしを守り、議会は予算や事業を審査する役割を担い、双方は対等な代表として議論を重ね、町の発展に向けて責任を果たすべきと認識している。

問 農地整備が進む一方で、農業法人が解散するという背景には行政支援の不足があったのではないかと。今後の農業政策の在り方と支援の強化は。
答 農業は基幹産業であり支援してきたが、法人化への合意形成に課題があったと思う。今後は受け皿確保や農地継承を重視し、持続可能な農業体制づくりを進める。

問 学校統合や新築で不登校問題は解決しない。新たな義務教育学校でどのように環境を整えていくのか。
答 義務教育学校は一貫教育で不登校改善に期待している。地域連携や個別支援、柔軟な教育体制を充実させ、通いたくなる学校づくりを目指す。

問 防災ハザードマップの更新が行われるが、各地区での説明会も必要ではないか。
答 10年ぶりに更新される事から町民に対して何らかの説明する機会を考えていきたい。

令和8年度予算

- ◆ 議案第10号 一般会計予算
 - ◆ 議案第11号 介護保険特別会計予算
 - ◆ 議案第12号 後期高齢者医療特別会計予算
 - ◆ 議案第13号 国民健康保険特別会計予算
 - ◆ 議案第14号 介護サービス特別会計予算
 - ◆ 議案第15号 町営バス特別会計予算
 - ◆ 議案第16号 七ヶ宿ダム自然休養公園特別会計予算
 - ◆ 議案第17号 簡易水道事業会計予算
 - ◆ 議案第18号 下水道事業会計予算
- 原案どおり可決

追加提案

- ◆ 議案第37号 町長等の諸給与条例の一部改正
 - ◆ 議発第2号 議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正
- 今般の改正は人事院勧告に伴い、町の特別職給与等審議会で承認されたもので、いずれも原案どおり可決。

※議案第37号

町長等の諸給与条例の一部改正（改正後給料月額）

| | | | |
|------------------------------------|--------|---|--------|
| 町長 | 83万6千円 | ↓ | 85万9千円 |
| 副町長 | 69万3千円 | ↓ | 61万9千円 |
| 教育長 | 52万4千円 | ↓ | 53万8千円 |
| ※議発第2号 | | | |
| 議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正（改正後給料月額） | | | |
| 議長 | 30万2千円 | ↓ | 31万円 |
| 副議長 | 26万円 | ↓ | 26万7千円 |
| 議員 | 25万3千円 | ↓ | 26万円 |



▲議場にて

問 消防費
問 消火栓更新の場所と内容は。
答 関地区役場前と滑津地区滑塚の消火栓で、どちらも常に水漏れしているために更新する。



▲滑塚消火栓

問 教育費
問 学校施設実施設計業務は財源の確保状況で事業の見直しはあるのか。
答 実施設計の中で出てきた図面により、見直す必要があり、若干の修正の余地はある。

国民健康保険特別会計

問 令和9年度以降の国民健康保険税率改正についての具体的な対応は。
答 宮城県は令和12年度に保険税統一の方針で、町も令和9年度に税率改正を予定する。県内でも低額水準のため段階的に引き上げる方針。

簡易水道事業会計

問 千浦浄水場の電気計装設備改修の内容は。
答 電気計装装置の更新で、動力盤や塩素注入ポンプ、次亜塩素酸の貯留タンクを交換する。

下水道事業会計

問 早急に修繕が必要な箇所はあるのか。
答 マンホールポンプ場の汲み上げポンプと浄化センターの最終沈殿池の汚泥かき寄せ機の修繕が必要。

農林水産業費

問 雪室ジャガイモ推進事業の内容は。
答 雪室で貯蔵したジャガイモのブランド化を目的とした事業。

問 乙女ゆり復活プロジェクトの事業内容は。
答 保護地の除草作業などを実施しており、昨年は300本の花芽を確認し、今後も継続補助していく。



▲乙女ゆり保護地域

問 有害鳥獣防止施設補助金の内容は。
答 電気柵や防護資材など、個人農家を対象とした補助事業。

商工費

問 産業活性化助成事業の対象となる具体的な事業は。
答 観光産業の活性化を図るため、新たな産業の創出、規模拡大、特産品の開発などが対象。

土木費

問 地域担い手づくり支援住宅の建設候補地が瀬見原、滑津、湯原地区とある。2棟の応募があれば関地区以外に建設されるのか。
答 関地区に2区画、滑津地区と湯原地区に1区画ずつ候補地があり入居希望者の意思を踏まえ、本人に場所の選定をしていただく。

令和7年 第4回定例会以降の議会・議長の動向

| 月日 | 場所 | 会議・行事等名 | 出席者 |
|----------|-------|----------------------|----------|
| 12月15日 | 事務室 | 議会広報特別委員会 | 広報委員 |
| 12月15日 | 議場 | 子ども議会 | |
| 12月19日 | スキー場 | 七ヶ宿スキー場オープン式 | 議員全員 |
| 12月19日 | 大河原町 | 仙南地域広域行政事務組合議会 議運・全協 | 議長・渡部 |
| 12月19日 | 大河原町 | 仙南互理地方町村議会議長会議 | 議長 |
| 12月22日 | 事務室 | 議会広報特別委員会 | 広報委員 |
| 12月22日 | 仙台市 | 知事との意見交換会 | 議長・副議長 |
| 12月25日 | 大河原町 | 仙南地域広域行政事務組合議会 | 議長・渡部 |
| 12月26日 | 町内 | 宇検村交流歓迎式 | 議長 |
| 12月26日 | 事務室 | 仕事納め式 | 議長 |
| 1月5日 | 事務室 | 仕事始め式・辞令交付式 | 議長 |
| 1月6日 | 町内 | 新春交歓会 | 議員全員 |
| 1月6日 | 事務室 | 議会広報特別委員会 | 広報委員 |
| 1月8日・9日 | 千葉県 | 市町村議会議員特別セミナー | 議員全員 |
| 1月14日 | 事務室 | 議会広報特別委員会 | 広報委員 |
| 1月20日 | 会議室 | 議会運営委員会・全員協議会 | 議員全員 |
| 1月20日 | 事務室 | 議会広報特別委員会 | 広報委員 |
| 1月20日 | 仙台市 | 後期高齢者医療広域連合議会全協 | 吉田 |
| 1月21日 | 議場 | 令和8年第1回臨時議会 | 議員全員 |
| 1月21日 | 白石市 | 白石商工会議所新春会員大会 | 議長 |
| 1月22日 | 仙台市 | 議員講座 | 議員全員 |
| 1月25日 | 町内 | 町農業委員会新年会 | 議長 |
| 1月29日 | 蔵王町 | 仙南互理議員研修会・表彰式 | 正副議長、5議員 |
| 2月3日 | 仙台市 | 後期高齢者医療広域連合議会 | 吉田 |
| 2月7日 | 塩竈市 | 北方領土の日塩竈大会 | 議長 |
| 2月9日・10日 | 東京都 | 宮城県町村議会正副議長研修会 | 正副議長 |
| 2月11日 | 仙台市 | 建国記念の日を祝う宮城県民大会 | 議長 |
| 2月17日 | 議場 | 令和8年第2回臨時議会 | 議員全員 |
| 2月20日 | 大河原町 | 仙南地域広域行政事務組合議運・全協 | 議長、渡部 |
| 2月19日 | 仙台市 | 宮城県町村議会議長会定期総会 | 議長 |
| 2月24日 | 第3会議室 | 議会運営委員会 | 議運議員 |
| 2月24日 | 第3会議室 | 全員協議会 | 議員全員 |
| 2月25日 | 大河原町 | 仙南地域広域行政事務組合議会 | 議長、渡部 |
| 3月1日 | 西山学院 | 西山学院高等学校卒業式 | 正副議長、3議員 |

～議会と語る会を開催のお知らせです～

日頃より議会活動にご協力頂きましてありがとうございます。

令和8年3月定例会で本年度予算が可決されました。伴いまして定例会の報告を兼ねて令和8年度の第1回「議会と語る会」を開催いたします。

日時などの詳細については後日、チラシにてお知らせいたしますのでご確認ください。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

予算特別委員会委員長報告書（抜粋）

予算特別委員会委員長 渡部 英 幸

令和8年3月6日の本会議において、議員全員をもって構成する予算特別委員会が設置され、3月9日から3月11日までの実質3日にわたり委員会を開催し、執行部からは町長はじめ各課長並びに課長補佐等の出席を求め、予算の全般的な事項及び内容等について詳細に審査を行いました。



▲渡部予算特別委員長

その結果、本委員会は一般会計予算及び関連する6特別会計・2事業会計予算については、いずれも妥当なものとして認め原案通り可決することに決定いたしました。

最後に、限られた予算で最大の効果が求められるとともに、今後、学校建設という大事業を抱えていることを考慮し、より良い教育環境づくりを進めて行くため、活発な意見交換の場の要望を望み報告といたします。

- ◆ 専決第1号
- ◆ 議案第8号
- ◆ 議案第9号

令和7年度一般会計補正予算（第7号）
令和7年度一般会計補正予算（第8号）
令和7年度町営バス特別会計補正予算（第1号）

原案可決

118万円
200万円
480万円

令和8年度第2回議会臨時会

会期（2月17日）

- ◆ 議案第1号
- ◆ 議案第2号
- ◆ 議案第3号
- ◆ 議案第4号
- ◆ 議案第5号
- ◆ 議案第6号
- ◆ 議案第1号

町長等の諸給与条例の一部改正
職員の給与に関する条例の一部改正
令和7年度一般会計補正予算（第6号）
令和7年度国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
令和7年度簡易水道事業会計補正予算（第4号）
令和7年度下水道事業会計補正予算（第3号）
議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

原案可決

令和8年度第1回議会臨時会

会期（1月21日）

行政執行に対する提言書（抜粋）

【教育環境整備】

- ◎ 教育環境の整備は地方自治体にとっても必要な事業であるが、明らかな人口減少傾向にある町の将来を大きく左右する事業規模であることや、緊迫化する国際情勢により諸物価高騰などが顕現する中で、冷静かつ慎重な対応が求められていることから、今後も限られた事業予算のなかで、より良い教育環境づくりに向けた幅広い意見交換の場が必要である。

【地域産業振興政策】

- ◎ 町内の圃場整備が進められ、効率的な営農環境が整備されたが、農家の高齢化や担い手不足に加え干蒲地区の広範囲な水田の遊休化など、町の経済力衰退が懸念される状況から、更なる農業政策の推進を図る必要がある。
- ◎ 観光は大きな地域産業となっていることから、町内の観光施設を管理する団体に対し、サービス業としての体制強化や主体的に経常利益を追求する自助努力への意識向上を促す行政指導が必要である。
- ◎ 滑津大滝公園農林産物直売施設への七ヶ宿町移住定住支援センターの移行で、新鮮な直売所の機能や生産者の意欲低下、更には誘客機能が損なわれないよう、指定管理団体とともに最善の対策を講じる必要がある。

【移住定住政策】

- ◎ 町が積極的に取り組んでいる地域担い手づくり支援住宅新築事業は、町内の地域間格差を年々顕著化させ、廃屋化を誘発させる空き家の増加抑止に繋がらない政策の実態を改めて検証し、町内全地域の活性化や空き家の抑止策に歪みを生じさせない効果的な政策に取り組む必要がある。

【地域生活支援政策】

- ◎ 町営バスの運行に高齢者や利用者から苦情があることをつぶさに把握し、受託業者にバス運行は町民の足となるサービス事業であることの指導に努め、運転業務に過度な負担のかからない運行も検討する必要がある。
- ◎ 町の国保診療所は初期診療を目的として設置されているが、町外通院への負担軽減の面からも、総合診療医師や理学療法士の確保など更なる診療体制の充実を図り、国保診療所の利用を積極的に促す必要がある。

【行政事務執行政策】

- ◎ 町内のイベント実施に職員を動員することは、業務の遅延や職責意欲の低下となることから、町の実情に則した行事の執行を検討する必要がある。
- ◎ 職員に、常日ごろから町政の発展に資する公務員意識と自らも町民と同様に郷土愛を自覚できる研修が必要である。

「行政執行への提言書」を提出



令和8年第1回定例会に示された令和8年度当初予算について審査した結果、各委員から出された意見を集約し、行政執行に対する提言として町長に提出しました。

内容については「教育環境整備」や「地域産業振興政策」「移住定住政策」「地域生活支援政策」「行政事務執行政策」に分け、提言としました。

提言書（抜粋）は11ページに記載のとおりです。



今野 三喜男 副議長



吉田 修 議員

また、15年以上の功績により、今野三喜男副議長が全国町村議会議長会から表彰され、吉田修議員も11年以上の功績で仙南地方町村議会議長会より表彰されました。今後のご活躍を期待します。



管原 研治 議長

令和8年2月19日に議長として7年以上在職の功績により、管原研治議長が全国町村議会議長会及び宮城県町村議会議長会と仙南地方町村議会議長会より、「功労者表彰」を受賞されました。

自治功労者表彰

今月号の表紙は「令和8年度 七ヶ宿小学校入学式」です。

4月8日に新入生8名を迎え、入学式が行われました。子どもたちが期待に胸を膨らませている姿はとてもすばらしいものでした。





高橋 浩之 議員

問 令和8年度より「旬の市七ヶ宿」の施設で農林物産直売所と移住定住支援センターが一体的に運営されます。

答 観光客を直接、移住相談につなげることが目的ではなく、くらし研究所が行ってきた既存の事業を継続しつつ、滑津大滝に来た方へ



▲農林物産直売所「旬の市」

の新たな情報提供の流れが出来るかと考えている。

問 指定管理者が変更となる令和8年度はどのような位置付けで運営していくのか。

答 旬の市で行ってきた販売関係については、今までどおりにはいかないと思われるため農林産物の出荷、販売の状況を今後見極めていきたい。

問 旬の市は、町にとって西側の休憩・案内・販売を担う重要な拠点である。「道の駅」とは動線も異なるため両拠点の役割分担が必要ではないか。

答 生産者の利益確保を優先しながら、旬の市と道の駅で相互販売を可能とし柔軟に対応したい。何が売れるかも検証し、滑津大滝滝見学の来訪者が休憩・滞在できる環境整備を進めて行きたい。



▲滑津大滝

金額等を把握し、全体的な収支の決算状況を検証し必要に応じて指定管理料の変更を議会に提案したい。

問 観光拠点としての役割を損なわない運営を

答 移住・観光・物産の連携で交流人口の拡大を図りたい

問 今後の運営にあたり成果の把握や検証をどのように行っていくのか。

答 業務形態が新しくなるので、利用者数、売上

【目〇チェック】

観光と移住政策の連携や拠点の役割を整理・意識した質問は良かったが、論点が多く焦点が分散してしまった。

東西拠点の機能分担や生産者対策を中心に簡潔に整理した質問を行う必要があると感じた。

問 学校建設は長期大型事業であるが、行政の運営に支障は出ないか

答 基金活用などで住民サービスの低下を防ぎ、住みたいまちづくりを目指す

計画で検討したい。

を目指す。

【目〇チェック】

今回の質問のポイントは、30から35億円の義務教育学校工事費の無駄と思える程に広い校舎やガスを使ったスポット暖房、高い吹き抜け構造など完成後の維持費に疑問があり、答弁を求めた。

特に建設費については、公債費は確実あがると感じている。それにより町民サービスの低下につながるのではないかと。

答 小学校敷地への建設は、国・県の補助や記載の借り入れが困難でありその分、町の負担が多くなる。また中学校敷地であれば仮校舎の建設が不要で、既存校舎を使いながら新校舎を建設できる。



▲七ヶ宿中学校

問 義務教育学校は今後生徒数の減少が懸念されている中、70名規模で計画されている。生徒数の推移を踏まえ校舎はコンパクトで無駄なく、最小限の面積で設計し、工事費を最小限に抑えるべきではないか。

答 児童生徒数は住民基本台帳や保育所入所者数を基に推計できるが、未出生分は予測となる。人口の減少傾向は理解しており、教室配置や面積等については実施



渡部 英幸 議員

答 建設費が30億円の場合なら補助金等で約3分の1の10億円を確保し、残り20億円は過疎債を活用したい。過疎債は7割は交付税措置され、国の負担となり、町の負担は3割で利子等を含め約7億円位と考える。償還期間は町が判断することになるが、どの様な方法が良いか国や県と協議していきたい。この事業で住民サービスの低下にならないよう、議会と連携し必要な分野への投資を行い、住み続けたい町づくり

令和12年の校舎完成の翌年から財政運営の悪い意味での転換期になり、町民の負担にならないよう、長期の財政計画を是非策定すべきではないだろうか。

町の人口や生徒数の推移など、様々な状況を踏まえて身の丈にあった行政運営を行うには、延期や近隣の学校施設との協力などという決断も必要ではないかと考える。

クローズアップ

江戸時代の七ヶ宿は「ゴールドラッシュ?」

先日、町内の旧家から江戸時代初期に作成されたと思われる一枚の絵図が発見されました。絵図には、稲子周辺が描かれています。同じような絵図は、宮城県図書館に保存されている「仙台藩刈田郡湯原村と幕府領伊達郡茂庭村、山境御論所絵図」です。

どちらの絵図にも、稲子周辺に四力所の金山の印▲が記載されています。その中で、わざわざ沢金山は寛永五年（1665）に発見され、多くの人が集まって山小屋が百軒程建ち並び、三年間「金」の採掘が行われたと「湯原村御境論争」という古文書に書かれています。

まさに「ゴールドラッシュ」です。この金山で採掘された金の運上金（税金）は、仙台藩に納められた記録があります。

そのため、湯原村と茂庭村の境争いは、寛文九年（1669）に幕府老中達役人より湯原村の言い分が認められ、湯原村の勝訴で終わりました。



▲旧家で発見された稲子地区金発掘場所の絵図



▲宮城県図書館蔵絵図

困みに、明治時代に書かれた文書に、江戸時代の七ヶ宿には、金・銀・銅などの鉱山は、稲子わさび沢金山、湯原金山など実に十カ所あったと書かれています。今回発見された絵図や宮城県図書館に保存されている絵図から、多くの七ヶ宿町の歴史が読み取れます。



高橋正雄さんよりお話を伺いました
（七ヶ宿町文化財保護委員、湯原区長）

あなたも議会の傍聴をしてみませんか

次回の議会定例会は令和8年6月3日から5日の会期で行われます。
傍聴に関してのご質問は「七ヶ宿町議会事務局」までお問合せ下さい。

編集後記

春の彼岸が過ぎると、日差しも暖かくしのぎやすい季節となりました。

水芭蕉やダム公園の桜が咲くころには、毎年バイクや車の交通量も増し、訪れた方が七ヶ宿の自然風景を満喫しています。



ダム公園の桜

ダム湖畔の道の駅では地場産のごみやタラの芽などの山菜がたくさん並び、訪れた方を楽しませてくれますので家族連れなどで大いに賑わうことを期待しています。
(吉田)

議会広報特別委員会

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 吉田 修 |
| 副委員長 | 高橋 浩之 |
| 委員 | 五十嵐 敏夫 |
| 委員 | 高橋 きく子 |

議会だより作成のため、お気軽にご意見・ご要望をお聞かせください。

現在町のホームページからも議会の内容や議会だよりをご覧いただけます。

▷連絡先 七ヶ宿町議会事務局 ☎ 37-2197 FAX 37-2198

3月定例会の傍聴者は2名でした